



ご挨拶

大会会長
NPO法人日本剣道協会

工藤善己

第43回全国少年少女剣道優勝大会並びに第40回全国高校生剣道優勝大会が、ここ山形県鶴岡市朝暘武道館において開催されますことに、鶴岡市のスポーツ関係者をはじめ山形県剣道協会保護者・関係者の皆様、そして、コロナ禍でまだ収束していない不安な環境の中、今大会に選手達を遠くから引率いただきました指導者の先生方・保護者の皆様に対し、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍において世界的なスポーツの祭典である東京オリンピック競技大会が開催され、感動と平和があふれる中で閉幕しました。昨年オリンピックを行えたことが、国内外の各競技大会開催に拍車をかけることになり、WITHコロナという意味で、とても大きな一歩になったのではないのでしょうか。我々はしばらくの間、コロナと共生し創造進化しながら社会を進めていかなくてはなりません。

本大会も、昨年同様コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となり、大会要項に「新型コロナウイルス感染防止等による基本方針」が掲示されております。熟読していただいたことと思いますが、大会での感染対策ルールを厳守していただきたく、節にお願い申し上げます。

また、このような大変な時に、まさか起きるとは思わなかった戦争が、現実起きております。祝嶺正献最高師範が、もう二度と戦争が起きないようにと、願いを込めて創始したのが「剣道」であります。相手とともに存在し、共に栄え、調和しながら未来を創っていく、これが「剣道理念」なのです。

選手諸君、試合に負けても次の目標を与えてくれた相手に感謝を、勝った時も共に戦う相手がいた事に感謝の気持ちを忘れずに、善戦健闘してください！

最後になりましたが、選手の保護者の皆様を始め多くの関係者の皆様、日ごろから剣道の普及発展にご尽力を賜り誠にありがとうございます。皆様方ますますのご繁栄と青少年の健全な育成が推進されますことを祈念し、大会のご挨拶といたします。